



題字：桂川中学校美術部  
原中 愛結実 さん

### 魅力ある学校づくり

桂川中学校 校長 石田英喜

新緑の季節になりました。4月に入学した1年生も、中学校生活に少しずつ慣れてきました。本年度も「桂川中の子どもたちの未来のために」を合い言葉に、生徒にとって「誰もが安心して精一杯学び合える学校」を、保護者にとっては「安心して子どもを任せられる学校」を、教師にとっては「子どもを誇りにできる学校」を築いていきます。

本年度の学校教育目標は「自ら学び、夢の実現に努力を重ね、たくましく前進する生徒の育成」です。目指す学校の姿「生徒が通いたい」と思い、保護者が通わせたいと思う信頼された学校」つまり、誰もが安心して精一杯学び合える学校を目指します。

- 一、授業を充実させ、学力を向上させます。
- 一、「心の教育」に力を入れ、人としての基礎基本を身につけさせます。
- 一、生徒の活動を活性化し、エネルギーや持ち味を存分に発揮させます。

この3つの点に力を入れ、桂川中の教育をさらに充実させていきたいと考えています。

本校の生徒は全体的には明るく元気に生活していますが、中には課題を持つ生徒もいます。私たちは、「一人一人を大切に」の精神で、保護者の皆さんと相談しながら良い方向に導いていきたいと思えます。

精一杯努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 小学校教育とのつながりを大切にした幼稚園教育を

桂川町立幼稚園 園長 城石俊弘

4月に16名の新入園児を迎え、ちゅうりっぷ組（3歳児）15名、たんぽぽ組（4歳児）5名、ひまわり組（5歳児）13名で新年度がスタートしました。新型コロナウイルス感染症の心配が続く中、本年度も感染予防対策をしながら、様々な園行事、日常の教育活動の充実を図りたいと考えています。

本年度の教育目標を「元気で友だちと協力して遊べる子どもの育成」とし、「健康で健やかに育ち元気に遊べる子ども」、「友だちの喜びや悲しみがわかる思いやりのある子ども」、「人の話をよく聞き、自分の思いを言える子ども」の育成を目指します。

本園では、アプローチカリキュラムを作成し、5歳児と小学生との交流活動など、小学校の学習や生活へのスムーズな接続を図るための工夫を行ってまいりましたが、昨年度、アプローチカリキュラムに加え、5歳児につなぐ、3歳児、4歳児のカリキュラムを見直して「桂川幼稚園育ちと学びの接続プラン」を作成しました。

本年度からは、この接続プランを活用して、3歳児から4歳児、4歳児から5歳児へと一貫性をつながりのある教育を行い、3年間の見通しを持って園児のより良い育ちを目指



ジュリー先生と楽しい英語活動



キッズヨガも楽しいな時間です

します。また、町立図書館、王塚装飾古墳館、ゆのうら体験の杜の活用やとれたて村の方たちとの体験・交流活動など、「ふるさと桂川」の施設の活用や地域の方々とのふれあい・交流にも力を入れたいと思います。

子どもたちの園生活の様子を写真でお知らせする「元気っ子だより」もより良い内容を目指して毎月更新していきますので、ぜひご覧になってください。（桂川町公式HP↓子育て・教育↓桂川幼稚園↓「元気っ子だより」で見ることができます。）

さらに、教職員の資質・能力を高めるための研修も計画的に行い、子どもたちに生きる力の基礎を育むことを目標に、教職員一同子どもたちに負けない明るさと元気で幼稚園教育を進めていきます。

本年度も地域や保護者の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。